

(様式1) 例

令和6年度 講座番号A50 中堅教諭等資質向上後期研修(小・中学校)授業実践力アップ講座

「PDCAサイクルを基にした『主体的・対話的で深い学び』の実現 に向かう授業の自己評価」実践資料

道徳科、特別活動、総合的な学習の時間を除く

| | | | | | | | |
|------------|----|-----|---------|----|-------|----|----|
| 受講者 No. | 80 | 学校名 | センター中学校 | 氏名 | 大矢沢 研 | 教科 | 保体 |
|------------|----|-----|---------|----|-------|----|----|

○A50協議で「PDCAサイクルを基にした『主体的・対話的で深い学び』の実現に向かう授業の自己評価」を行います。自身の授業実践について、記入または動画撮影してください。

(協議の際の参考資料とします)

| | | | | |
|-------------------|---|-------|----|------|
| | 単元・題材名 | 跳び箱運動 | 学年 | 1 学年 |
| 本時の授業デザイン | ★資質・能力の育成を目指すために、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業をデザインしてください。単元・題材のまとまりの中で、本時は何時間目の授業か、本時の目標は何か、本時の授業で子供のどんな学びの姿を目指すのか、そのために行う具体的な手立ては何か、書いてください。 | | | |
| | 【本時の目標】 学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。 | | | |
| | 【目指す子供の学びの姿】 今日は何がうまくできて何ができなかったのか、更に上手に跳ぶにはどうすればよいかなどを考え、次に生かす姿。(振り返って次へつなげる。「主体的な学び」の視点) | | | |
| | 【具体的な手立て】 ・学習カードを活用して自分の学びの過程を蓄積し、成長を確かめられるようにする。 ・友達からの視点を取り入れられるようにする。 | | | |
| 本時の授業記録 | ★具体的な手立てに対する子供の反応や様子 (記録提出・動画持参) ←どちらかを○で囲んでください。 ※動画撮影の場合は記録しなくてもよい。講座当日、Windowsで再生できる動画(5～10分程度)を持参してください。 | | | |
| | T : 「T(教師)」「C(子供)」の様式で、具体的な場面が分かるように記載 C : 具体的な手立てが分かる場面を切り取って記載 : | | | |
| 省察 | ★具体的な手立ての効果に対する省察 ・子供の反応、様子から、何を見取ったのかを分析 ・思い通りの反応をしなかった原因は何か、反応させるための手立てをどうするか ・○○の課題が残ったので、次の授業は○○の手立てでいくということを記載 | | | |
| 再デザインした結果の授業記録 | ★省察をもとに再デザインした授業の子供の反応や様子 (記録提出・動画持参) ←どちらかを○で囲んでください。 ※動画撮影の場合は記録しなくてもよい。講座当日、Windowsで再生できる動画(5～10分程度)を持参してください。 | | | |
| | T : 再デザイン(修正した手立て)で、子供がどんな反応をしたのかを切り取って記載 C : より「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の姿になった子供の様子を切り取って記載 T : : | | | |
| 提出期限：令和6年11月8日(金) | | | | |

※この用紙をそのまま協議資料として配付しますので、2枚以内に収めてください。